

年 組 名前：

ウクライナ羽毛使用 感謝 返礼品の布団工場を見学

在日特命大使が富士吉田訪問



在日ウクライナ大使館のセルギー・コルスンスキー特命全権大使が18日、同国産の羽毛を使った布団をふるさと納税の返礼品にしている富士吉田市を訪れ、羽毛布団の製造工場を見学した。ウクライナには羽毛代とともに支援金が贈られていて、コルスンスキー大使は「日本からの支援に感謝している。素晴らしい取り組みで、今後も続けてほしい」と話した。

〈武田寛明〉

羽毛、寝具卸売業の「ホッ プ布団製造を行うタキ・リビンライオンジャパン」(東京) グ(同市上暮地6丁目) が参加した支援プロジェクトに 画。タキ・リビングがホッ プ

ライオンジャパンを通して、羽毛の購入費に支援金を上乗せして支払っている。ウクライナ産羽毛が入った布団は7月下旬から製造。市によると、今月17日までにするさと納税として103件、約2千万円の寄付金が集まっている。

コルスンスキー大使はこの日、タキ・リビングの工場を訪れ、布団の縫製や羽毛を詰める工程を見学。同社の滝口彰彦社長がウクライナを支援する旨の案内を付けて発送していることなどを説明した。

コルスンスキー大使は「ウクライナ人の助けになる、素晴らしいプロジェクト」と感謝。ロシアによって港が攻撃を受けるなど、正常な経済活動ができなくなっていることに触れ、「戦争は継続しているが、ウクライナに品質の高い商品があることを知ってもらいたい」と述べた。滝口社長は「10年は支援を継続させたい」と話した。

工場を見学するセルギー・コルスンスキー特命全権大使(左)と滝口彰彦社長(右)
|| 富士吉田市内

(2023年11月19日付 山梨日日新聞17面)

問1 在日ウクライナ大使館の特命全権大使が、富士吉田市を訪問した理由を教えてください。

.....

問2 大使は富士吉田市で、何を見学しましたか。

.....

問3 大使は、「素晴らしい取り組み」と話しています。なにが素晴らしいと思いますか。

.....

.....